

科目名	哲学概論Ⅰ			担当教員	安部 日珠沙	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1SPE201
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	・西洋哲学の主要な流れや思想に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・哲学的なものの見方や考え方を身に付け、物事を根本的に問い直す姿勢や態度を養う。 ・哲学に関する自身の考えを、自らの言葉で適切に表現したり説明したりできるようになる。					
授業の概要	本授業は講義（12回）とグループワーク（3回）から構成される。講義では、古代から近代までの主要な西洋哲学思想について学習し、哲学に関する基礎的・基本的な知識の習得を目指す。グループワークでは、習得した知識への理解を深めるとともに、それらを単なる過去の知識として捉えるのではなく、現代社会と自分自身の在り方を問い直し、探究するためのツールとして身に付けることを目指す。総じて、自ら哲学するための基礎的・基本的な知識や技能を培っていく。					

授業計画	
第1回	ガイダンス：本授業の進め方の説明／なぜ「哲学」を学ぶのか
第2回	古代哲学（1）ソクラテス哲学
第3回	古代の哲学（2）プラトン哲学
第4回	古代の哲学（3）アリストテレス哲学
第5回	古代の哲学（4）ストア学派とエピクロス学派
第6回	グループワーク（1）真理の探究とは（第2回～第5回のまとめ）
第7回	中世の哲学：スコラ哲学とアリストテレス
第8回	近世の哲学（1）イギリス経験論：ベーコンと帰納法
第9回	近世の哲学（2）大陸合理論：デカルトと演繹法
第10回	近世の哲学（3）スピノザとライプニッツ
第11回	グループワーク（2）近代思想とは（第7回～第10回のまとめ）
第12回	ドイツ観念論（1）カント哲学
第13回	ドイツ観念論（2）フィヒテとシェリング
第14回	ドイツ観念論（3）ヘーゲル哲学
第15回	グループワーク（3）近代思想とは（第11回～第14回のまとめ）

事前学修	2時間	前時の講義資料を復習しておく。また、本時の講義内容の予習として、上記「授業計画」中の語句の語彙や概念を書籍・インターネットなどを用いて調査・確認しておく。
事後学修	2時間	前時の講義内容と比較検討しながら、授業資料をもとに本時の講義内容を復習する。また、授業資料に記載された参考資料などを閲覧・確認して理解を深めたり、教員の指示に基づいてレポートを作成・提出したりする。
フィードバックの方法	(1) リアクションペーパーを通じて寄せられた意見や質問等については、次回の授業開始時に回答・説明を行う。 (2) 第15回目の課題と期末レポートについては、羽島教務課を通じて返却を行う（詳細は後日連絡）。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	30%	グループワークの課題
レポート	55%	期末レポート

上記以外の試験・平常点評価		15%	
補足事項	グループワークの課題（30％）：テーマに関する自身と他者の考えを比較検証しながら、自分自身の意見を理論的に総合できているかを評価する。 期末レポート（55％）：課題について自分の意見を哲学的見地から理論的に述べることができているかを評価する。 平常点評価（15％）：毎回リアクションペーパーを配付するので、授業内容に関する疑問・意見・感想等を記して提出すること。リアクションペーパーの内容については、次回の授業で適宜コメントする。また、提出回数が10回未満である者は、期末レポートの提出資格を失う。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	適宜授業中に提示する。			